

# 生月まち協 だより

第27号

令和元年7月15日発行



生月地区まちづくり  
運営協議会

TEL/FAX 0950-29-9080





# 部会情報

それぞれの部会が新年度事業に向けて動きだしました

## 地域づくり部会

～婚活事業『島恋-Shimakoi-』開催～

NPO法人山田・館浦地区まちづくり運営協議会と合同で婚活事業を開催します。

7月14日より、男性も女性も参加者を募集いたします。



島恋 - Shimakoi -  
出逢いはアゴ風にのせて♡

《日 時》2019年10月13日(日)～  
10月14日(月・祝)

《参加条件》男性：生月島内に住む独身男性  
で20歳代～50歳代

女性：独身女性(島内外問わず)

《募集人数》男性：約15名 女性：15名

《参加費》男性5,000円 女性：2,000円

【詳しいことはチラシをご覧ください!!】



## 生活環境部会

～御崎遊歩道ハイキング～に向けて～

日頃から行っている、御崎遊歩道整備。草刈をするばかりではなく、草刈で綺麗になった道を観光客の方だけではなく、生月町内の方にも歩いてもらい、このすばらしい絶景を見て欲しい。そう思い今年



ハイキングを計画しています。コースなど様々な事をこれからの部会で決めていきます。また詳細が決まりましたらお知らせいたします。



## 健康福祉部会

～地域カフェ(仮)開催事業に向けて～

今年度健康福祉部会の新規事業『地域カフェ』の開催に向けて社会福祉協議会生月支所に『介護予防カフェ』の見学に行きました。



コーヒーなどを飲みながら、日常の色々なことを話したり、まちがい探しや軽い運動などを行いました。

平戸警察署生月駐在所の龍護巡查部長からの講話などもありました。終始和やかな雰囲気です。居心地もよく楽しい時間を過ごさせていただきました。

健康福祉部会では子供からお年寄りまで誰でも集えるように検討しています。



また詳しいことが決まりましたらお知らせいたします。

## 産業振興部会

～勇魚まつり開催に向けて～

今年も11月23日(土・祝)に『いきつき勇魚まつり』を開催します。開催に向けてステージイベントなどの検討し動きはじめています。



また、フリーマーケット、かかし品評



会も同時開催いたします。今年も町民皆様に楽しんでいただけるような様々なイベントを準備しようと考えています。楽しみにお待ちください(^o^)



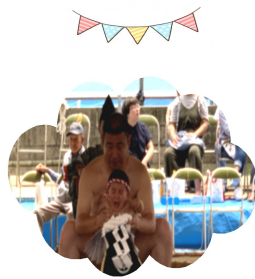
# 防災意識向上のために



6月30日(日)生月漁港において平戸市主催の『平戸市総合防災訓練』が行われました。住民参加の避難訓練や初期消火訓練などの他、関係各所による災害時の本格的な訓練が行われ、皆で防災意識の向上に努めました。全国各地にて様々な自然災害が起こっている現在、生月町においても、もしもの時のための備えについて考えてみてはいかがでしょうか。



# 奉納大相撲



6月17日(月)壱部浦青年会主催の『住吉・白山神社奉納大相撲』が行われました。幼児や小学生による花相撲や相撲甚句などが行われ、ちびっ子力士の元気の良い取り組みに会場が湧きました。また恒例の幼児初土俵には生月内外から13名の参加があり、皆で健やかな成長を願いました。

# 素敵な歌声が響きました



7月7日(日)生月町開発総合センターにて『北松浦おかあさんコーラス交歓演奏会』が開催されました。県北地区から9団体が参加。生月からもメリーママが出演し、素晴らしいコーラスを披露されました。また全員での合唱も行われ、会場全体が素敵な歌声に包まれました。

## シーカヤック体験



# 生中 課外授業

7月1日(月)1年生が参加しての『シーカヤック体験』が行われました。B&Gの指導員が丁寧に説明をし、始めはうまく前に進めなかった生徒も徐々にコツをつかみ、楽しみながら体験していました。

7月8日(月)3年生が参加しての『着水訓練』が行われました。消防署指導の下、衣服を身に着けたまま2リットルのペットボトル1本で水に浮く訓練や溺れている人を助ける方法などを学びました。

## 着水訓練





## 最終回 最西端の層雲峡

海と山に囲まれた生月島「いさりび」最終回はインスタ映えするサンセットウェイを走る。

石原公園より山頭草原の西側にあたる断崖は鷹取(たかとり)の岩と地の人は呼んでいる。

幾千年もの間、地殻変動によって亀裂が入り、地盤沈下によって長瀬鼻まで延々3キロにおよぶ断崖絶壁は北海道の層雲峡にも似た景観を呈している。石原公園から断崖を見ると夫婦岩なる2つの岩があり、女岩をしっかり支えている男岩の様子は夫婦円満のありがたさの趣がある。手を合わせてみてはいかが。。。 (心己)



《執筆者より》



このコーナーは生月の歴史・文化・自然について独断と偏見で紹介してきました。

ご教示いただきました博物館の中園学芸員、永光寺の池永住職、佐世保海上保安部、また生月町史、生月史稿、平戸検定ガイドブックなど、参考にさせて頂き感謝いたします。



日付	曜日	行事	場所
7月17日	水	住吉神社祇園祭	
17日	水	消費生活巡回相談	生月支所 (13:00~15:00)
20日	土	オトナ女子の美活じかん	和く話く交流館 (9:30~15:30)
28日	日	館浦競漕船大会	館浦漁港中央突堤網倉庫前
8月15日 16日	木 金	生月夏祭り	15日館浦会場 16日壺部会場



7月の声を聞くあたりに祖母が『はげ雨ん降ったせん梅雨が明けるばい』とよく言っていました。小さかった頃の小生は何を言っているのかわからないまま『はげた雨が振るとってなんじゃろかい』と毎年訝しく思ったものでした。

年を経て本でその正体をつかみました。七十二候の一つで『半夏生』がそれで、毎年7月2日頃に当たるそうです。

『はんげしょう』と読むのですが、祖母は、縮めて『はげ』と言っていたのでしょうか。

しかし、最近では『半夏生』の頃は、まだまだ梅雨の走りこれから本格な梅雨に突入していく時期に当たります。祖母は『はげ雨』という言葉で梅雨の終わりを表現していたのですから、祖母の小さい頃と今では、季節の移ろいが大きく変わってきたのでしょうかね。これも温暖化の影響かと思ってしまう。

さて、先週末位からようやく梅雨らしい天気になって来ました。生月は、水不足が心配されていますので、災害が起こらないくらいに、もう少ししっかり雨を降らせて欲しいと、天の神様にお願いをしている今日この頃です。 (学)

